

2. 本市の取組状況

2-1 本市の長期戦略と低炭素都市なごや戦略実行計画との関係

低炭素都市2050なごや戦略

(2009年11月策定)

2050年を見据えた低炭素社会の実現に向け、市民・事業者・行政の各主体が共有すべき2050年の望ましい将来像を示し、それに至る道筋や施策の方向性を取りまとめたもの。

総合目標 『低炭素で快適な都市なごや』

目指すべき3つの生活像

駅そば生活	風水緑陰生活	低炭素「住」生活
駅そば生活圏の創生を通じ、自動車に過度に依存しない化石燃料消費の少ないまち	地形、水系、植生や小川など自然や風土を生かしたうるおいのあるまち	自動車に依存しないライフスタイル、省エネ機器を活用した低エネルギーなすまい・しごと、エネルギーの地産地消が実現するまち

挑戦目標 【温室効果ガス排出量削減(1990年比)】

中期目標(2020年)**25%削減** 長期目標(2050年)**8割削減**



最初の10年の処方箋

低炭素都市なごや戦略実行計画

(2011年12月策定)

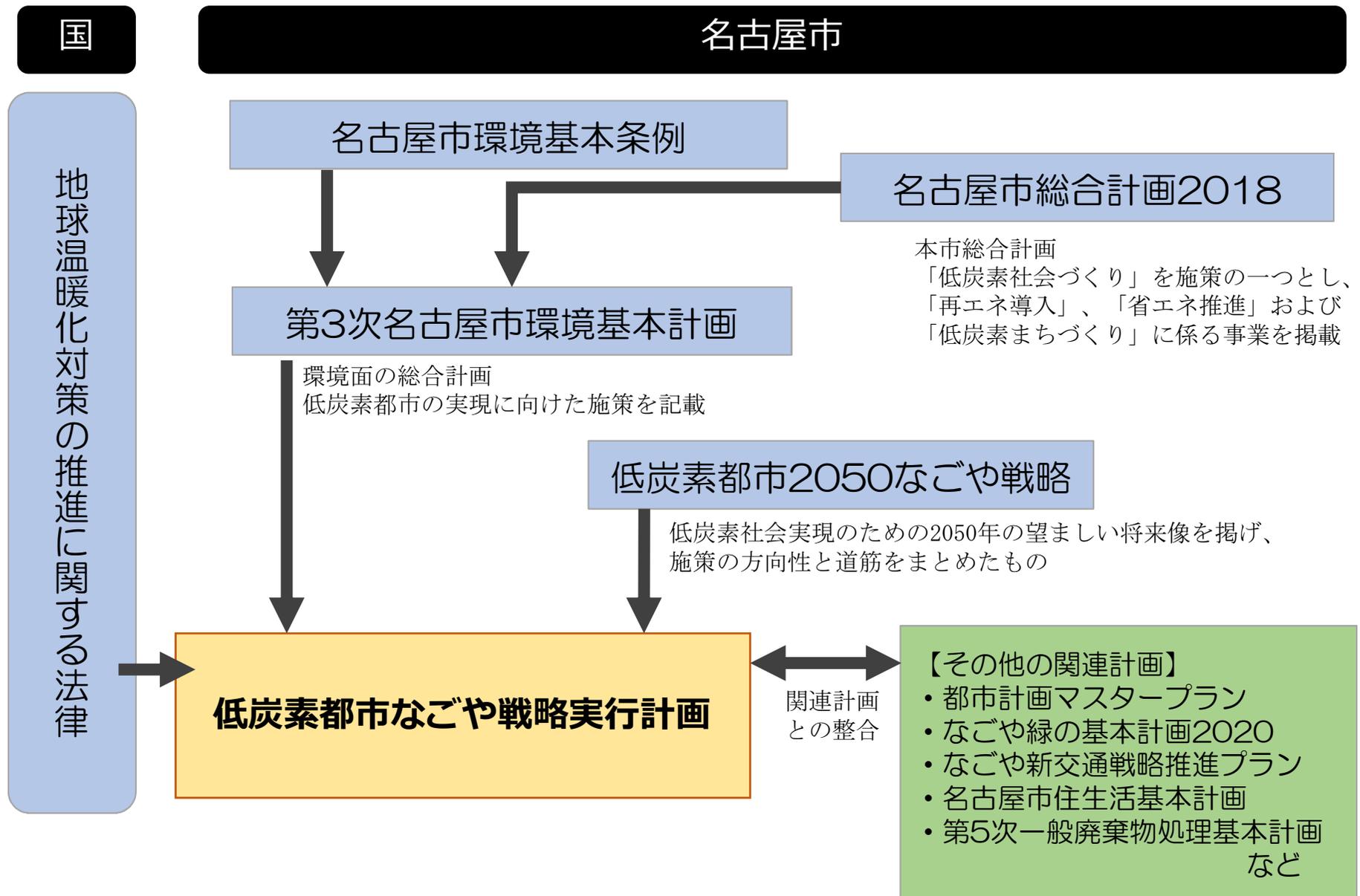
計画期間 2011年度～2020年度までの10年間

目標 温室効果ガス排出量 **2020年度**に1990年度比 **25%削減**
(ただし、目標値は京都メカニズムクレジットの活用を前提)

根拠 「地球温暖化対策の推進に関する法律」第21条に基づく法定計画



2-2 低炭素都市なごや戦略実行計画の位置づけ



2-3 低炭素都市なごや戦略実行計画の概要

3つの生活の将来像		2020年度までの施策の分類	5つの重点施策	
駅そば生活 歩いて暮らせる駅そば生活		■ 駅そば生活圏の構築(低炭素モデル地区) ■ 土地利用の誘導等		● 低炭素なまちづくり (1) 風土を生かした「低炭素モデル地区」の形成
風水緑陰生活 身近な自然を享受できる生活		■ 風土を生かした低影響開発の普及 ■ 緑陰街区・緑陰街路づくり ■ 緑と水の回廊づくり、里山・鎮守の森の保全・回復・活用		
低炭素住生活 自然と超省エネ機器を活用した快適な低エネルギー生活	くるま	■ 道路空間の活用などによる歩行者・自転車シフト ■ 公共交通機関の利便性向上 ■ かしこい自動車利用の促進		● 市民・事業者からの排出量削減 (2) 我が家の低炭素化10年計画プロジェクト (3) 低炭素トップランナー事業者支援 (4) 「行政」自らも低炭素化!名古屋市役所環境行動計画2020
	すまい	■ 環境先進モデル事業の推進と見える化 ■ 建築物の環境性能表示によるトップランナー住宅・建築物の促進 ■ 次世代省エネ住宅・建築物の普及		
	しごと	■ 事業活動の見える化、排出削減行動の推進 ■ 環境・エネルギー分野における産業振興 ■ 低炭素型ビジネスの育成・支援 ■ 「行政」自らも低炭素化!名古屋市役所環境行動計画2020		
	地域エネルギー	■ 自然エネルギーの積極的な導入促進 ■ 廃棄物・バイオマス等の活用推進 ■ 地域でのエネルギー利用・管理		
低炭素社会を支える協働パワー		「低炭素なライフスタイル・ビジネススタイルの普及(循環型ライフスタイル含む)」や「世代に応じた環境教育の展開と課題解決型人材育成の推進」により、低炭素社会を支えていく。	● 必要な知識習得、人材育成支援 (5) 世代に応じた環境教育の展開と課題解決型の人材育成	